

東京都議会において、あらゆる立場にある人の尊厳と人格が守られ、品位ある議会運営を求めると共に、より一層の女性支援及び少子化施策の推進を求める意見書

2014年6月18日、東京都議会本会議において、女性議員の女性の妊娠・出産における都の施策や支援体制について、一般質問をしていた際に、議席の一部から女性蔑視するかの様な差別的な野次が飛び出しました。

本来、様々な立場を代表し、政策を検討する良識ある東京都議会において、人権感覚の欠如した野次を発してしまう議員が存在している事に、同じ都民として大いに失望するところであります。

今回の発言は、東京都議会の品位を貶めるだけでなく、すべての女性の尊厳や人格を踏みにじる発言であります。

女性である事を理由に、個人の意思や事情に関係なく、結婚や妊娠を強要するかの様な発言であり、看過する事は出来ません。

都議会は、人口減少社会において、出生率の低下や晩婚化が我が国全体の問題になっている状況下、全国一出生率の低い首都東京で、その課題解決に向けて積極的な議論を深めるべきであります。

よって、町田市議会は、国際社会が注目する都議会において、あらゆる立場にある人の尊厳と人格が守られ、言論の府たる議会に相応しい品位ある議会運営を求めると共に、より一層の女性支援及び少子化施策の推進を切に求めるものであります。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。